# 令和7年度予算特別委員会

# 局別審査

所属議員が各担当部局に分かれて令和7年度予算について質疑しました。

市政へのご意見・ご相談は
各区所属議員にお問い合わせください。

お問い合わせは
こちら▶

## 北区 山本 のりかず議員 ▶▶▶ 水道局

### 新規採用職員の育成体制について

**山本** 水道技術職として採用されている職員の年齢を見ると20代・30代の方が多い。水道局業務では配水管取り替え工事などで民間事業者とやりとりする場面が多い。若手職員が1人で民間事業者へ指導するとなると知識面などに不安を抱えて苦労することも多いと推察される。例えば、メンター制度などを整備することで、ベテラン職員がそばにつき業務従事すれば、若手職員の不安感の解消・ノウハウの継承につながると考えますが確認します。

**水道局▶** 新規採用者のフォローアップは大切です。提案をいただいたメンター制度は、神戸市では採用していましたが、水道技術職の新規採用者については採用しておりませんでした。メンター制度については、導入を検討しています。

## 兵庫区 岩谷 しげなり議員 ▶▶▶ 危機管理室

### 避難所受付の迅速化・効率化(DX化)について

**岩谷** 防災訓練に参加した際、避難者が「世帯名簿」に記入する際に大変混在しており、後から来られた方が足止めを食らっていた。手書きによる受付管理は、非効率で時間がかかるため、迅速かつ円滑な受付体制を実現することが必要である。避難所受付におけるDX化の取り組み状況について伺う。

**危機管理室▶** 手書きによるアナログな受付管理は、情報管理の面でも課題がある。マイナンバーカード等による受付システムの実証実験を行った際、大変効率的・効果的に避難所受付を行えることが分かった。システムの導入について検討を行っていく。

**岩谷** マイナンバーカードよりも、様々な機能を付与できるスマートフォンで受付可能となれば非常に便利となるので研究してもらいたい。

## 西区 高橋 としえ議員 ▶▶▶ 健康局

### 西神戸医療センターの診察体制の強化について

**高橋** 令和5年3月の一般質問において、病院規模に対して、一日あたりの外来患者数が多く、診療の待ち時間が発生しているとともに手術室の稼働率が90%以上と高水準で推移している。早急な対策が必要であるとの質疑をしました。この度手術室及び外来診察室の増設に着手される事となり大変評価している。どのような整備また期待される効果について伺いたい。

**健康局▶** 今の既存の手術室が8室。フル稼働状態で予定手術患者の待ち時間が平均で3ヶ月待ちになっている。外来部門においても混雑が常態化しており診察科によっては診察まで平均1時間以上長い時は2時間以上の待ち時間となっている。これらの課題に対応するため**令和9年度の完成を予定に手術室2室、外来診察室を4室増設します。**

## 西区 黒田 武志議員 ▶▶▶ 地域協働局

### 中学校部活動の地域移行(コベカツ)について

**黒田** 文化系では、地域福祉センター(交流センター)を活動の場として利活用することで、学生が地域活動に触れ、世代間交流が促進されると共に地域の絆が深まる貴重な機会が創出されると考える。「コベカツクラブ」の第1次募集では約600クラブの応募があった。具体的な検討を進める必要があるがいかがか。

**地域協働局▶** 地域活動や社会貢献活動など多様な活動に参加することで、子供たちが自由に豊かな時間を過ごし、健やかに成長するとともに、その経験が将来の地域活動への参画につながると考えている。今後、クラブ活動を運営する団体と指定管理者が積極的に交流し、多様な活動主体が関わることで地域内外の交流を促進できるよう各区役所、教育委員会と連携して進めていきたい。

## 長田区 ながさわ 淳一議員 ▶▶▶ 企画調整局

### スマート区役所について

**ながさわ** 企画調整局はデジタルを活用し、区役所改革を加速化させる役割を担うと認識しておりますが、予算案において、審査業務の自動化とありますが、具体的にどのように取り組むのか、また、区役所窓口においても積極的にAIを活用し、デジタル先進都市にふさわしい業務効率化の取組を進めるべきだと考えます。

**企画調整局▶** 審査業務へのAIの活用につきましては、基幹システムとの突合判定ルールの作成作業の一部にAIを活用することができる製品は承知しておりまして、活用を検討していきたいと思っております。AIも、そしてまたAI以外の様々なデジタル技術も含めて、区役所の業務効率化をしっかりと実現してまいりたいと考えております。

## 灘区 川口 まさる議員 ▶▶▶ 行財政局

### 職員の意識改革と対策について

**川口** 行財政改革方針2025の実施目標の1つである職員数750人の削減は、令和7年度の組織編成時点においては達成できる見込みだと説明を受けています。しかし、組織体制のスリム化は業務量の削減とセットで進めていくべきことです。職員1人当たりの業務負担軽減も実現した上での組織の最適化を達成するためには、職員の意識改革についての抜本的な対策が必要だと考えますが、来年度に向けてどのように取り組んでいくのでしょうか。

**行財政局▶** 現在、改めてDXに取り組む目的とメリットについて庁内に周知するともに、DXに取り組んで成功した事例を、職場紹介記事としてイントラネットで発信しています。今後も努めていきたいと思っています。

## 垂水区 さとう まちこ議員 ▶▶▶ 文化スポーツ局

### サブカルチャーと滞在型の神戸まつりについて

**さとう** 神戸まつりにコスプレイヤーを呼び、新しいジャンルで若者を呼び寄せるきっかけとしてはどうか。また、コスプレイヤーに神戸の観光名所で写真を撮っていただき、SNS等で宣伝していただく事により、多くの方に神戸を周遊してもらえるような仕掛けをし、神戸に滞在・周遊したいと思ってもらえるよう新たな仕組みづくりをしてはどうか。

**文化スポーツ局▶** (神戸まつりの)公募による提案は、アニメコスプレをメインとするイベントだった。御指摘のとおり、アニメコスプレ文化の人気や広がりは実感している。前日か翌日に撮影していただけるよう相談をしたい。

**要望** 公民館を夜泣きで悩むご家庭向けに交流施設として夜間開放とイメージ刷新をしていただきたい。

## 垂水区 原 直樹議員 ▶▶▶ 福祉局

### 民生委員が使用する タブレットのシステムについて

**原** 民生委員の負担軽減を目的として、タブレットを全民生委員に配布し、活動記録などのDX化を行うとのことです。そのシステム導入にあたっては、ベンダーロックイン状態にならないよう、パッケージ化されたシステムを導入するなど、利便性はもちろん、運用や保守業務のコスト面も考慮する必要があると考えますが、いかがでしょうか。

**福祉局▶** 他都市の動きなども注視いたしまして、パッケージ化された場合には、リプレースを含めた検討もできるよう、開発後についても利便性の向上とともに、運用や保守業務のコスト面を考慮しつつ、競争性の担保と経費削減に努めてまいりたいと考えております。

## 中央区 のまち 圭一議員 ▶▶▶ 経済観光局

### AIスタートアップ支援について

**のまち** AIは世界的に成長が見込まれる分野です。シリコンバレーなどの都市と競争する中で、神戸も独自の強みを生かし、差別化を図る必要があります。特に、AI×バイオやスパコンを活用したAI開発など、神戸医療産業都市との連携を強化すべきだと考えます。今後、AIスタートアップ支援をどのように展開していくのでしょうか?

**経済観光局▶** まず、人材育成が重要です。神戸大学のシステム情報学部や神戸高専の新学科と連携し、最先端技術を扱える人材を育てます。また、神戸は医療・製造業・ロボット産業が集積しており、AIとの親和性が高い。これらの分野で大企業との共同研究を推進し、海外都市の事例も参考にしながら、神戸ならではの強みを生かした差別化を進めていきます。

## 中央区 三木 しんじろう議員 ▶▶▶ 交通局

### 中学校部活(コベカツ)の移動手段について

**三木** 教育委員会で実施される中学校部活の地域移行「コベカツ」の移動手段に関して不安の声がある。中学生へ交通局のバスや地下鉄を乗り放題にするサブスクリプション(定額制)を導入し、コベカツ活動、通学、個別の移動に活用できる定期券を発行したらどうか?

**交通局▶** 料金を幾らに設定するかなど検討事項があり、正規料金の利用から収益が減少する可能性、増便対応が必要になる場合もあり、交通局単独で仕組みを構築するのは非常に高いハードルがあると懸念している。

**要望** 公共交通機関を利用していなかった中学生に利用してもらう観点、交通局の経営状況を見ればコスト削減だけでは追い付かず、新たな収入を取得する必要がある。実証実験の実施等、検討いただきたい。

## 須磨区 住本 かずのり議員 ▶▶▶ 港湾局

### 須磨海岸の冬のにぎわいづくりについて

**住本** 港湾局の須磨海岸魅力向上の取り組みについては、海水浴場の運営等、主に夏のにぎわいづくりが主である。冬季など通年のにぎわいづくりが必要であると考えるが、取り組みについて伺いたい。

**港湾局▶** 海岸使用にあたっては、市民利用促進のため使用料金の改定等を行った。また、イベント開催する団体への利用相談や支援などの充実も図っている。引き続き冬季の利用促進を図り年間を通じたにぎわいのある須磨海岸にしていきたい。

**要望** 冬の須磨海岸では、「BOKETTOマルシェ」(区役所)、「suma豊かな海プロジェクト」(環境局)、ファーマーズマーケット(経済観光局)、海浜公園の「竹あかりイベント」(建設局)等、様々な部局所管でイベントを行っている。その中でも港湾局が情報共有を図り各局連携・支援を通じて更なるにぎわいづくりを要望する。

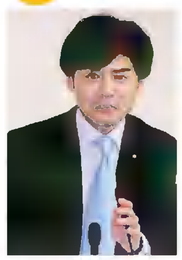
## 須磨区 大井 としひろ議員 ▶▶▶ 都市局

### 須磨駅周辺の再整備について

**大井** 須磨駅周辺の再整備についてお伺いいたします。過去に何度も議論されましたが、進展しませんでした。令和4年1月にスーパーマーケットが撤退後、地域では商業施設の立地を望む声もあり、今後どのように再整備を検討されるのか、ご見解をお伺いします。

**都市局▶** 須磨駅は、エリアの拠点駅にふさわしい駅前空間が求められますが、長年再整備に着手できず、事業化には課題がありました。周辺は店舗や住宅が多く、まとまった空地がないため、再整備には地権者や住民の理解と協力が不可欠です。令和5年度以降、市が主体となり検討を進めており、民間事業者とも適宜情報を共有しながら、地域の機運が高まった段階で協力を求め、住民の合意形成を大切にし、持続可能なまちづくりを慎重に進めて参ります。

## 東灘区 外海 開三議員 ▶▶▶ 環境局



### 路上喫煙禁止地区における 喫煙所の絶対数の不足について

**外海** 路上喫煙禁止地区において、公設喫煙所が2か所、民間喫煙所が補助制度を利用したものを含めると2か所、合計4か所であり、まだまだ絶対数は不足していると考える。近隣自治体では、具体的な数を目標に置いて喫煙所整備を進めているが、環境局としてはどのように考えるのか。

**環境局▶** 六甲道駅周辺地区にはいまだ喫煙所が整備されていないという状況であり、喫煙所を増設する必要があるというふうに考える。現時点では、このような禁止地区に喫煙所が不足しているという認識の下で、1つでも多くの喫煙所を整備することを目指している。補助制度を民間事業者に活用いただけるように、各局や外郭団体とも一体となって制度の周知に全力で取り組んでまいります。

## 東灘区 なんの ゆうこ議員 ▶▶▶ 教育委員会

### 校内サポートルームの運営について

**なんの** 今年度各学校で「校内サポートルーム」の運用が開始され、1日平均約500人が利用しており需要の高まりと必要性を感じる。支援員は教育関係者から未経験者まで幅広く、一部サポートルームでは迷惑行為を行う児童生徒がいるなど、指導等に関して困惑しています。サポートルームに繋がる事ができるようになった児童生徒へ適切な支援に繋げるよう、現状の運営状況を見直し明確なルールを設けるべきと考えます。

**教育委員会▶** 支援員に全て任せるのではなく、教員や生徒指導、専門職等と連携を図っていきます。また全小中学校にアンケート調査を実施しており、今後も適切な支援へ繋がるような運用方法を目指していきます。